

マリアの宣言

マリアのうちに
偉大な業をなさった天の父よ。
イエスの母マリアを思い起こします。
エリザベトを訪問して、
祝福のことばをいただいたマリアは
偉大な業をなさったあなたを賛美しました。
すべてがあなたの恵みによるものだと宣言しました。



そして、周りの社会に目を向けて、その中にある様々な
矛盾を、心のうちに深い痛みを感じながら表明しました。
富んでいる者と貧しい者、
支配している者と圧迫されている者などです。
だが、マリアは、人々があなたの訪れに心を開くならば、
その現実が変わると確信をもって宣言しました。

天の父よ、私たちも、マリアのように、周りの社会を見る
目、その中にある矛盾を感じ取る心、また、恐れずに、
あなたの恵みに支えられて、あなたが望んで
おられる社会を築いて行くための
知恵と力を私たちに
お与えください。



3

**わたしたちは、見たことや聞いたことを
話さないではいけないのです** 使徒言行録 4・20

第三日曜日 (10月17日)
ステップ3 福音を宣言する

「洗礼を受け、神の民のすべての成員は宣教する
弟子となりました (マタイ 28・19)。教会の中の役目が
どんなものであっても、また信仰の素養に差があっても、
洗礼を受けた一人ひとりが福音宣教者なのです。「…」
イエス・キリストにおいて神の愛に出会ったかぎり、
すべてのキリスト者は宣教者です。わたしたちはもう
自分たちを「弟子」や「宣教者」というよりも、「宣教
する弟子」といいます。」 (『福音の喜び』120)



全世界の福音宣教に思いをはせながら、
祈りの旅を続けましょう。今週は
アジア大陸に生きている人々のために
祈りましょう。

主よ、真理の霊よ、そして人々の希望。
アジアにおける異文化・異宗教間の対話が平和へ道と
して大切にされ、武器の喧騒を止めさせ、あなたの子ども
たちが互いに愛し合うようになりますように。アーメン。

福音宣教の手 ③

中指は **『宣言』**(proclamation)

宣言



宣言としての宣教

イエスは、「来なさい。そうすれば分かる」と言われた。そこで、彼らについて行って、どこにイエスが泊まっておられるかを見た。そしてその日は、イエスのもとに泊まった。午後四時ごろのことである。ヨハネの言葉を聞いて、イエスに従った二人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった。彼は、まず自分の兄弟シモンに会って、「わたしたちはメシア——『油を注がれた者』という意味——に出会った」と言った。そして、シモンをイエスのところに連れて行った。(ヨハネ1:39-42)

宣言するという宣教の在り方は使徒信条を覚えさせ、言えるようにするという意味ではありません。広い視野を持って相手に呼びかけること、キリスト教のこと、キリストを紹介をすることも指している。友達にアドバイスすることや、勧めることは自然なことです。「あのレストランに是非一度行って見て、料理が美味しいから」。自分自身がまず経験した上で、友達にもこういう経験をさせてあげたいということになります。イエスとの出会いの場合も同じでしょう。

自分自身がイエスに出会い、親しみ、その関係が人生のために大きな支えとなっているという体験をしてきたから、友人にも伝えたいのです。しかし、無神経な伝え方と近づき方には注意しなければなりません。なぜなら、しつこかったり、猛烈なやり方では福音宣教するどころか逆効果になり、相手に拒否されてしまうからです。

主日の福音から黙想のヒント

人の子は仕えるために来たのである (マルコ10:35-45)

イエスの右と左に座りたがるヨハネとヤコブは名誉を受けたいのでしょうか。宣教者はイエスの秘密を知っている：多くの人の身代金になる。「仕える」という祭壇の上に自分のすべてを捧げきる。これこそ神の愛の宣言です。

一緒に祈りましょう (共同祈願)

- ☆ キリストの愛がみ言葉によって日曜日の聖堂で宣言されているように、わたしたちの奉仕を通して響きますように。
- ☆ 日本のカトリック教会がイエスの愛を宣言するために信仰養成を大切にして、キリスト者が自分が信じていることを誰にでも説明をすることができますように。

